

「2010 年度の進路状況・就職状況について」

中野春美

就職状況

2010 年度は 1623 名の学生が卒業した。卒業後の進路としては、就職希望者が全体の 74.7%、大学院等進学者が 8.5%とそれぞれ前年度比 2.4%減、2.3%減となった。進路の詳細は（表 1）のとおりである。進路把握については例年以上に各学科の協力をいただいたが、3 月 11 日の東日本大震災により卒業式が取りやめになった関係で、最終的なとりまとめが難しく例年より未把握者が増えた。

就職活動は 1249 名の学生が行った。景気の影響を受け、求人倍率は前年度の 1.62 倍から大幅に低下し、1.28 倍となり（リクルートワークス研究所 2010 年 4 月調査）、学生にとって非常に厳しい状況となった。就職活動は長期化し、卒業を間近にした 3 月に活動を続けている学生は、昨年より更に増えた。そのため、大震災により、就職活動に影響を受けた学生も若干いた。

文部科学省・厚生労働省の調査では、2010 年度全国の大学卒業生の就職内定率（2011 年 4 月 1 日現在）は 91%と前年比 0.8%減であった。女子の就職内定は 90.9%となっており前年度を 0.6%下回っている。

本学では 2010 年度卒業生の就職希望者の就職内定率（2011 年 4 月 21 日現在）は 96.6%と前昨年比 1 %減となった（表 2 参照）。

P.91 の内定率推移のグラフは、2005 年度からの本学と全国の女子平均内定率の推移をあらわしている。本学は景気の影響を受けにくく常に高い内定率を保っていることがわかる。

学生の就職活動の傾向としては、就職環境が厳しいために、大企業のみでなく中小企業にも目を向けた学生が増えたことである。視野を広げて就職活動を行ったことは有意義であった。しかし、企業情報が少ないままに受験したため、内定取り消しや辞退の際のトラブルなど企業の採用体制が整っていないために発生した問題が若干あった。

就職先としては、教員・公務員・情報処理業界などが増え、金融・運輸・通信業界は減った。

就職支援

就職活動の厳しさを反映し、学生の就職相談やエントリーシート添削、模擬面接などの学生への個別対応件数は、6036 件と 2 年前の 2 倍以上となった（グラフ「学生相談件数」参照）。これは、就職活動の長期化も大きな原因である。しかし、自立してい

る学生の減少という学生の資質の変化によるものも考えられる。学生対応のために前年からキャリアカウンセラーの増員をはかっている。2010年10月からは文部科学省の大学改革推進等補助金に選定された「大学教育・学生支援推進事業」学生推進プログラムの追加配分を受け、キャリアカウンセラーの配置を強化し、個別対応を中心に学生の進捗状況に応じ、志望書の書き方や面接体験講座、グループワークなどよりきめ細かい支援を実施した。これらにより学生相談の待ち時間が軽減され満足度も上がった。

4年次支援としては前年に引き続き4大学（明治・中央・法政・日本女子大学）合同企業説明会を各大学持ち回りで8日間（中小企業庁主催のものも含む）開催した。さらに六本木ジョブパークや東京仕事センターから定期的にキャリアカウンセラーの派遣を受け、学生により多様な支援を実施した。派遣日数は20日である。

昨年からは開始した1～3月の開室時間の延長は、多くの学生が個別相談に利用した。

3年次は秋から徐々に就職活動を始めている。10月～12月には就職ガイダンスの合間に、キャリアカウンセラーによるグループカウンセリングを行い、各自の志望業界や職種を選ぶ準備のためのプログラムを組んだ。しかし、年が明け活動が本格化してきた3月に東日本大震災がおこり、学生は企業にエントリーをしたものの、多くの企業の選考スケジュールがストップしてしまい、先の予定が見えない不安な状況となった。

おわりに

今後の就職環境は、2011年度については東日本大震災の影響、2012年度以降は（社）日本経済団体連合の採用選考に関する企業の倫理憲章による就職活動時期早期化は正の動きなどにより、学生の就職環境は大きく変化することが予想される。

キャリア支援課としては、就職環境の変化に迅速に対応し、学生により有効な支援の方策をたてていく必要がある。

（なかの はるみ キャリア支援課課長）

(表 1)

2010 年度進路状況

学部	学科	卒業	就職	進 学			研究生・科目 等履修生	専門学校	その他
				大学院	大学	計			
家政学	児童	114	97	4	1	5	1		11
	食専	31	27	1		1		1	2
	食管	52	42	6		6		1	3
	居住	49	34	2		2		2	11
	建築	38	20	11		11			7
	被服	95	66	2		2		3	24
	経済	95	77	4		4		3	11
	計	474	363	30	1	31	1	10	69
	%		76.6%	6.3%	0.2%	6.5%	0.2%	2.1%	14.6%
文学部	日文	136	95	9		9	1	2	29
	英文	137	104	10		10		2	21
	史	113	78	6		6		1	28
	計	386	277	25		25	1	5	78
	%		71.8%	6.5%	0.0%	6.5%	0.3%	1.3%	20.2%
理学部	数物	107	71	13	2	15		1	20
	物生	117	80	25		25	2	1	9
	計	224	151	38	2	40	2	2	29
	%		67.4%	17.0%	0.9%	17.9%	0.9%	0.9%	12.9%
人間社会学部	現社	113	99	4	1	5		2	7
	社福	119	94	7	1	8		3	14
	教育	118	102	2		2	1	1	12
	心理	70	33	17	1	18	3	6	10
	文化	119	88	9		9		2	20
	計	539	416	39	3	42	4	14	63
			77.2%	7.2%	0.6%	7.8%	0.7%	2.6%	11.7%
合計		1623	1207	132	6	138	8	31	239
%			74.4%	8.1%	0.4%	8.5%	0.5%	1.9%	14.7%

端数処理の関係で合計が100%にならない場合がある。

2011 年 4 月 21 日現在

(表 2)

2010 年度就職状況

学部名・学科名		卒業生数	就 職			
			希望者数	希望率%	決定者数	決定率%
家政学部	児童	114	98	86.0	97	99.0
	食専	31	27	87.1	27	100.0
	食管	52	43	82.7	42	97.7
	居住	49	36	73.5	34	94.4
	建築	38	21	55.3	20	95.2
	被服	95	68	71.6	66	97.1
	経済	95	77	81.1	77	100.0
	計	474	370	78.1	363	98.1
文学部	日文	136	105	77.2	95	90.5
	英文	137	110	80.3	104	94.5
	史	113	83	73.5	78	94.0
	計	386	298	77.2	277	93.0
理学部	数物	107	73	68.2	71	97.3
	物生	117	80	68.4	80	100.0
	計	224	153	68.3	151	98.7
人間社会学部	現社	113	100	88.5	99	99.0
	社福	119	98	82.4	94	95.9
	教育	118	103	87.3	102	99.0
	心理	70	34	48.6	33	97.1
	文化	119	93	78.2	88	94.6
	計	539	428	79.4	416	97.2
合計		1,623	1,249	77.0	1,207	96.6

2011 年 4 月 21 日現在

内定率推移

